

2011

2011年度より、科目名が変更になります！
(旧科目名：異文化交流実践講座)

日本にしながら
海外の大学生とディスカッションをしよう

Cross-Cultural Distance Learning

(CCDL)

オープン教育センター開講科目



大学間をネットワークで結び、
リアルタイムでアジアの学生とディスカッション

大連外国語学院 (中国)
大連理工大学 (中国)
大連交通大学 (中国)

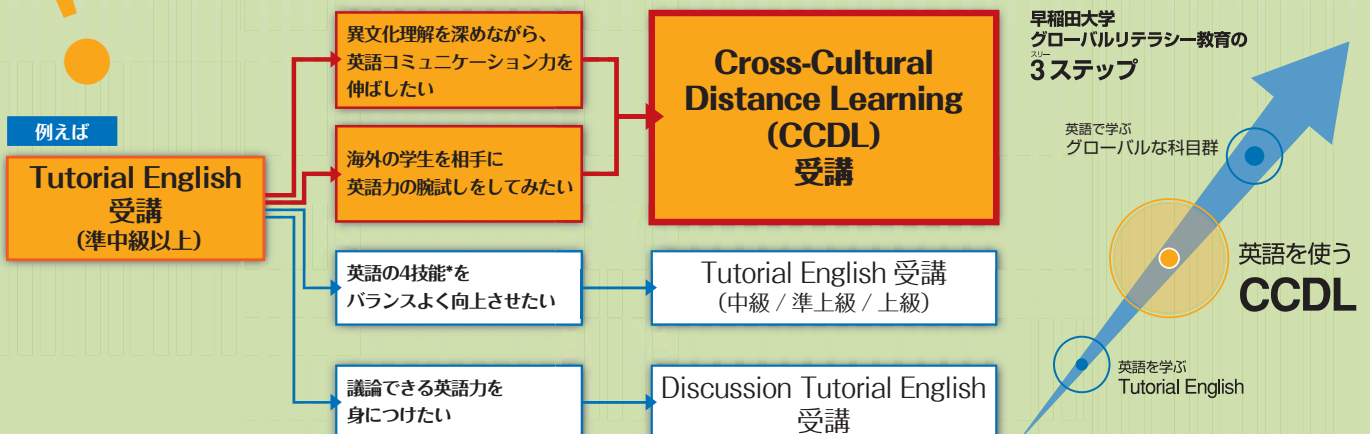
延世大学 (韓国)
高麗大学 (韓国)

早稲田大学

淡江大学 (台湾)
南台科技大学 (台湾)



英語力を向上させるには、継続学習がポイント



*英語の4技能とはリスニング、スピーキング、ライティング、リーディングを指します。

1 Cross-Cultural Distance Learningとは

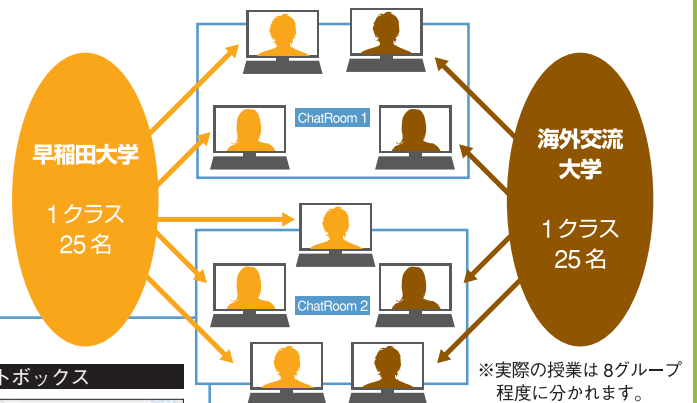


Cross-Cultural Distance Learningはオープン教育センターの語学科目の1つで、Tutorial Englishで身に付けた英語コミュニケーション力を更に向上させ、対話力や異文化理解を深めることを目的としています。海外の交流大学(台湾、韓国、中国)のクラスと本クラス間をネットワークで結び、リアルタイムでディスカッションを行います。

英語を母国語としていない学生同士のディスカッションでは、すぐには相手の意見が理解できなかったり、自分の発言が伝わらなかったりします。この講座では、音声やテキストチャットなどの手段を駆使して、そのような状況を自ら打開する姿勢が求められます。また、実際に様々な意見が飛び交う中で自分の考えを正確にかつ説得力のある形で伝え、相手の意見に耳を傾け、双方が納得できるまで議論を展開させます。

2 海外大学との交流方法

海外の学生とPC上のビデオ会議システムで、3~6人(早大生3名、海外大学生3名程度)の小グループを作り、学期に4~6回(各回50分)の交流授業を行います。また、テレビ会議システムを使って、教室と教室を結んでの交流を行う場合もあります。交流授業以外は早稲田生のみを対象に、コミュニケーション力やディスカッション力の向上のための理論習得、プレゼンテーション等を実施します。



Web画面

LiveOnとは、海外の学生とのディスカッションの際に使用する、TV会議ソフトです。Webカメラが付いているPCを使用しますので、海外交流大学の学生の顔を実際に見ながら交流することが可能です。

ホワイトボード

テキストボックス

テキストボックスやホワイトボードは、LiveOnでのディスカッション中に、図や文字でさらに詳しくメッセージを伝えたい時に使用するアプリケーションです。

ディスカッションを情報の交換だけで終わらせないために、授業の前と後には、Course N@vi による予習や復習を行います。

3 CCDL各科目の紹介 (ディスカッショントピックス・授業の進め方)

※トピックは変更になる可能性があります。

Social and Global Issues

トピック例1) 幸福の要因

What makes you happy and why?

トピック例2) 地球温暖化問題

What can be done to raise public awareness about climate change?

Media

トピック例1) 様々な表紙

How are general newspapers different from each other?

トピック例2) ポップカルチャー

What are the main pop cultures that have affected your life?

International Career Path

トピック例1) 起業か就職か

Would you prefer to start up your own business or to work for an established company?

トピック例2) 仕事と私生活のバランス

What are the employment conditions that are important to you?

交流授業の進め方

予習

● Course N@vi* を使って予習

授業 (90分)

● 早稲田大学のみでの準備授業 (15分~40分)

● 海外交流大学との交流授業 (50分)

復習

● Course N@vi* を使って復習

*交流授業は1学期に4~6回予定されています。前期は4~6月、後期は9~12月に実施されます。

*授業はすべて英語で行われます。

*Course N@viとは、早稲田大学が運営する授業支援システムです。講義資料や映像の閲覧、BBSを使った議論が可能です。

※受講には、実験実習料として12,500円が必要になります。

※Cross-Cultural Distance Learning (Social and Global Issues)、(Media)、(International Career Path)は、それぞれ別科目のため、同一学期に並行して履修することが可能です。

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.w-int.jp/gogaku/ccdl/>

お問い合わせ

■ 科目登録、成績評価に関すること：オープン教育センター
■ クラスの内容に関すること：早稲田総研インターナショナル

Email: open-help@list.waseda.jp

Phone: 03-5286-8030 (9:30-17:00) / Email: ccld@w-int.jp